



2015
年度

高知市の予算概要

—— 地方創生による「にぎわいと安心のまちづくり」 ——

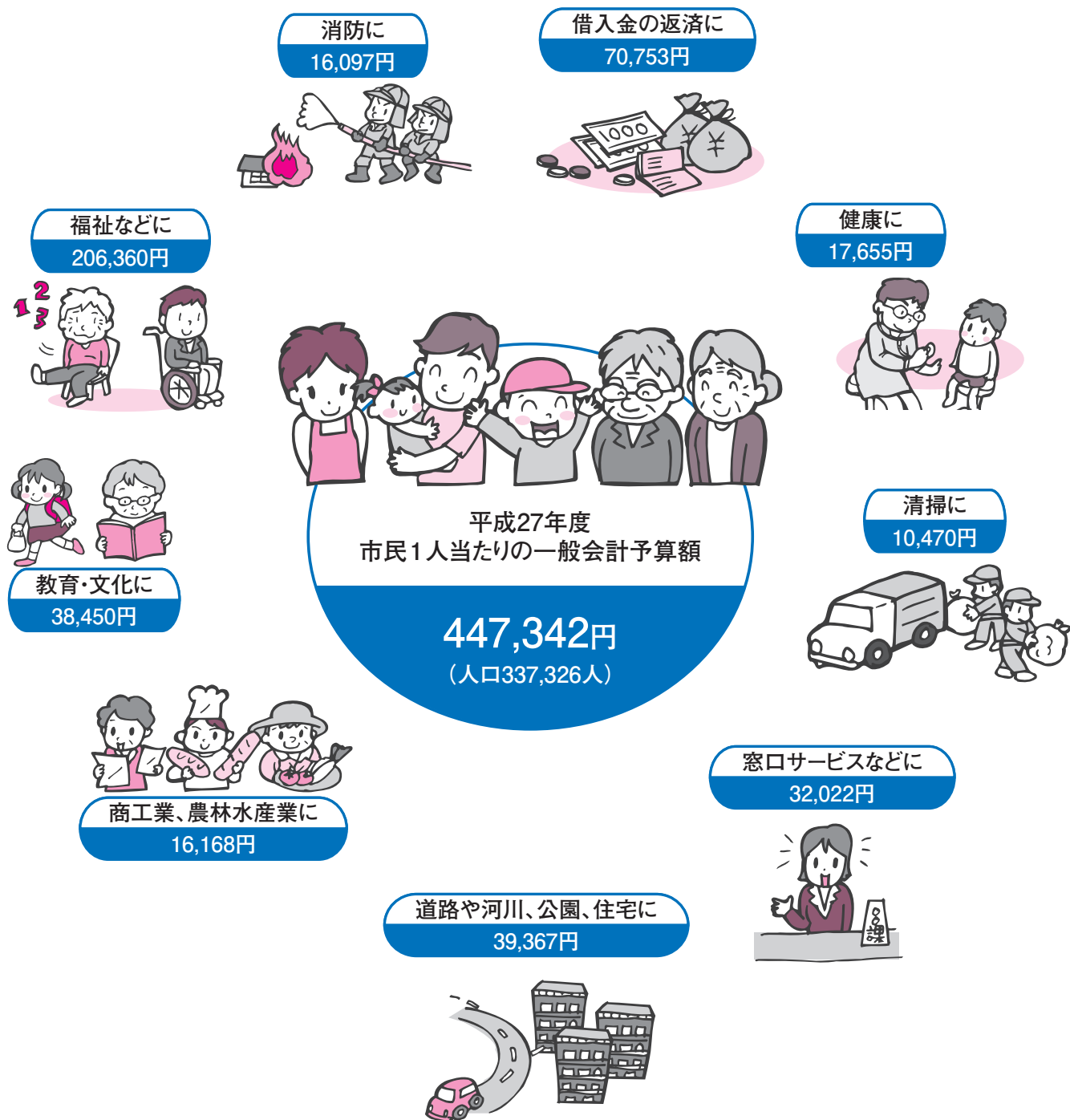
2015年3月 高知市

2015 年度 高知市予算概要

CONTENTS

主な項目		3
①共生の環		4～5
②安心の環		6～8
③育みの環		9～12
④地産の環		13～14
⑤まちの環		15～16
⑥自立の環		17

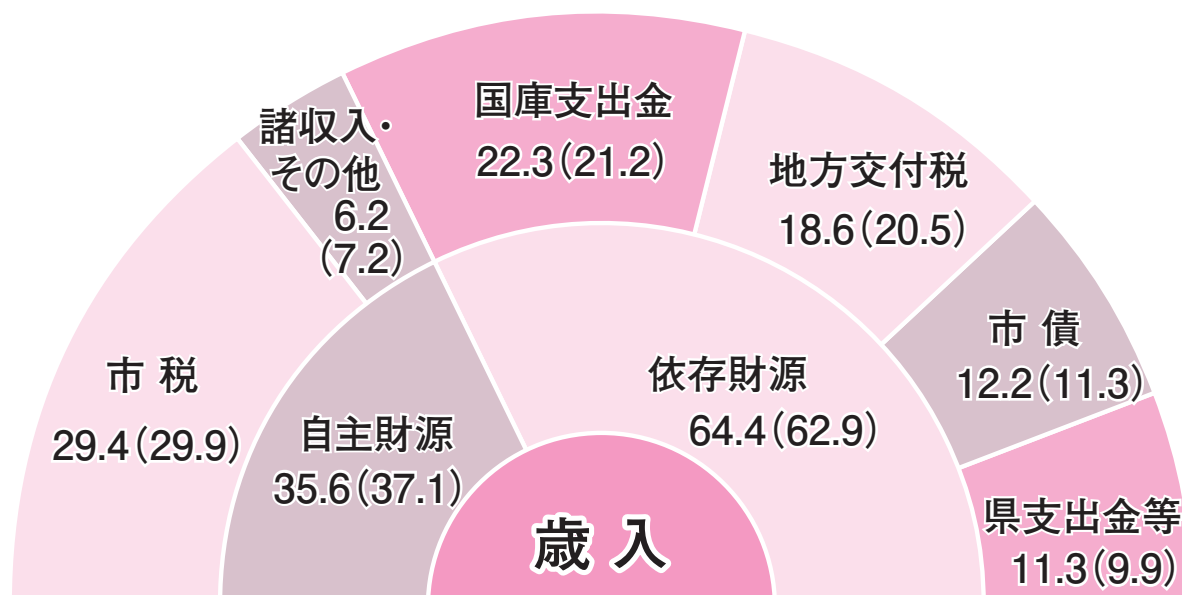
平成27年度 市民1人当たりの一般会計予算額



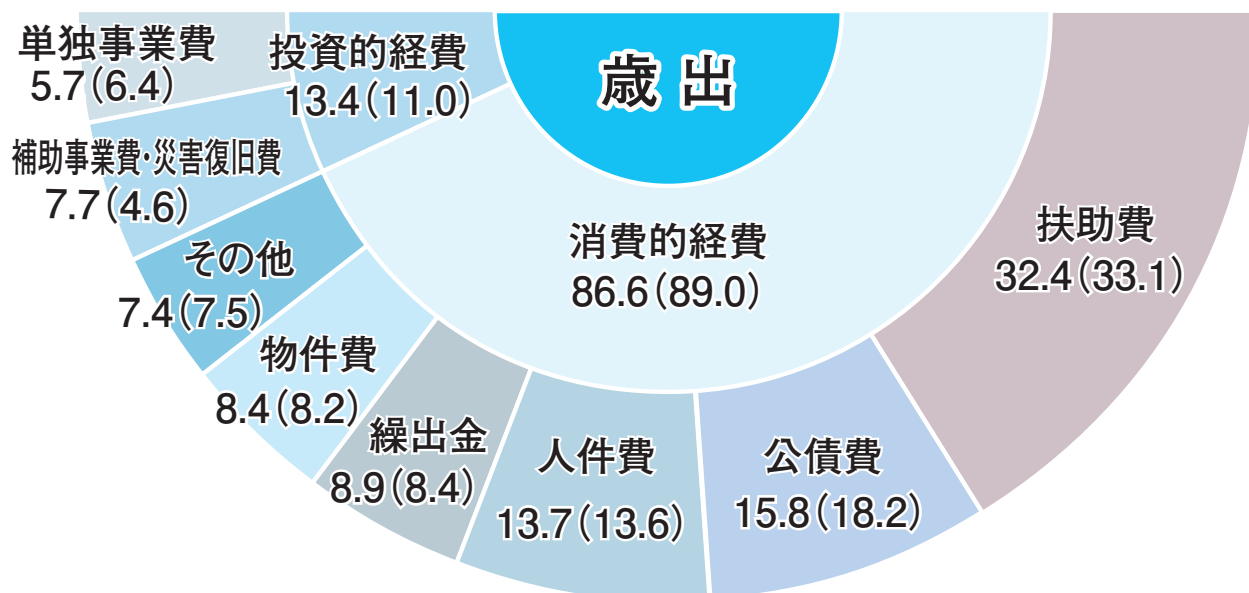
※一般会計のみで、特別会計、企業会計は含みません。

※人口は、H27.2.1現在の住民基本台帳人口

高知市 平成27年度一般会計予算



総額1,509億円 (1,483億円)



※ 数字は構成比%、()は平成26年度当初予算

平成27年度高知市予算の主な項目

1	共生の環 265 億 4,827 万円	◆自然の理解と共生の環境づくり 1 億 2,019 万円 ◆自然豊かなまちづくり 10 億 627 万円 ◆環境汚染の防止 199 億 805 万円 ◆共生文化の継承と創造 125 万円 ◆減災対策の強化 6 億 5,644 万円 ◆環境負荷の少ない循環型社会の形成 35 億 3,561 万円 ◆地球温暖化防止への貢献 1 億 7,056 万円 ◆平和を守り人権を尊重する社会づくり 6 億 1,243 万円 ◆市民協働によるまちづくり 5 億 3,747 万円
2	安心の環 516 億 8,669 万円	◆いきいき安心の高齢社会づくり 102 億 6,466 万円 ◆障害のある人が安心して暮らせる環境づくり 94 億 2,488 万円 ◆安全安心の生活環境づくり 45 億 8,338 万円 ◆安心して生活できる社会保障の充実 274 億 1,377 万円
3	育みの環 351 億 379 万円	◆子どもを生ま育てやすい環境づくり 230 億 8,981 万円 ◆未来に翔る土佐っ子の育成 69 億 2,456 万円 ◆いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり 44 億 8,728 万円 ◆多様な文化を身近に親しむ環境づくり 6 億 214 万円
4	地産の環 256 億 9,414 万円	◆山間の恵みを活かす林業の振興 3,767 万円 ◆大地の恵みを活かす農業の振興 17 億 4,892 万円 ◆海川の恵みを活かす漁業の振興 4 億 1,223 万円 ◆独創性あふれるものづくりの振興 20 億 7,289 万円 ◆魅力あふれる商業の振興 10 億 644 万円 ◆あったか土佐のおもてなし観光の充実 202 億 1,968 万円 ◆いきいきと働ける社会づくり 1 億 9,631 万円
5	まちの環 206 億 8,530 万円	◆美しく快適なまちの形成 30 億 4,881 万円 ◆にぎわう市街地の形成 6,700 万円 ◆便利で快適な交通網の整備 43 億 5,176 万円 ◆安全安心の都市空間整備 132 億 1,773 万円
6	自立の環 10 億 6,660 万円	◆さらなる広域連携・交流の推進 3,777 万円 ◆持続可能で自立した行財政の基盤づくり 10 億 2,498 万円 ◆住民による自治の環境づくり 385 万円



■自然の理解と共生の環境づくりに1億2,019万円

◇環境学習の推進に508万円

- ・ 県森林環境保全基金を活用して森林や山に対する理解を深める森林環境教育推進事業に370万円を計上
- ・ 環境問題の広報・啓発活動として環境民権運動推進に13万円、保存樹木等助成に73万円措置
- ◇生態系の保護としてアニマルランド運営に1億1,510万円を計上

■自然豊かなまちづくりに10億627万円

◇森林の保全・整備に3,528万円

- ・ 民有林の保護育成に904万円、うち森林保全推進事業補助に30万円、造林支援事業補助に170万円、森林総合整備事業補助に400万円、森林整備地域活動支援に204万円、地域林業総合支援事業補助に100万円を計上
- ・ 協働の森づくりに1,060万円、うち企業の支援による協働の森づくり事業に580万円を措置
- ・ 市民の森整備に500万円を計上
- ・ 市有林の適正管理に702万円、うち市有林造林事業に530万円を計上するとともに、県J-VER制度（オフセット・クレジット）を活用したCO2削減への取組に132万円を措置
- ・ 保安林の適正管理に362万円、うち防潮林整備に115万円、保安林環境保全事業に54万円を措置
- ◇里山の保全と再生に246万円
- ・ 里山保全啓発推進として104万円を計上

◇農地の保全に8,321万円

- ・ 遊休農地対策として8,315万円を計上。うち中山間地域農村集落活性化対策に8,213万円を計上
- ◇海洋・河川環境の維持・保全に346万円
- ・ 浦戸湾・7河川一斉清掃に108万円を計上
- ・ 鏡川清流保全対策に238万円を計上
- ◇みどり豊かな市街地づくりに8億8,187万円
- ・ 都市の緑化対策として6億1,277万円。うち花ストリート整備に1,772万円、花とみどりのまちづくりに700万円、花のよさこいタウン春花祭に536万円、緑の基本計画策定に200万円を計上
- ・ 公園整備に1億4,890万円を計上
- ・ 公園遊園整備改良として、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園整備を推進していくための公園遊具の整備などに1億2,020万円を計上

■環境汚染の防止に199億805万円

◇公害対策の推進に1億1,727万円

- ・ 公害対策事業として、環境監視事業に462万円、大気汚染防止に2,099万円、水質汚濁防止に421万円、ダイオキシン類発生防止対策として292万円、アスベスト発生防止対策に26万円を措置
- ◇生活排水対策の推進に197億9,078万円
- ・ 公共下水道の面的整備等に37億8,100万円、うち北江ノ口排水分区の雨水貯留管築造等に9億2,000万円を措置
- ・ 単独下水道事業では、各処理区の管渠築造等に

8億2,700万円を計上

- ・ 団地下水道の維持管理に1億2,706万円を措置
- ・ 浄化槽設置補助に5,505万円を計上し、浄化槽適正管理には487万円を計上

■共生文化の継承と創造に125万円

- ◇地域文化の再発見と継承と創造に86万円
- ・ 指定文化財保存に43万円を計上
- ◇食を通じた地域文化の継承と創造として、市民農園貸付事業に39万円を計上

■減災対策の強化に6億5,644万円

- ◇地域防災力の向上のために8,424万円
- ・ 自主防災組織育成強化推進に6,500万円、防災施設整備事業補助に1,300万円を計上
- ・ 防災人づくりに329万円、地域防災力育成に295万円を措置
- ◇災害対応力の強化のために5億7,220万円
- ・ 災害情報の収集伝達として、防災行政無線のデジタル化整備に3億2,000万円、中山間災害情報支援システム整備に562万円を計上
- ・ 災害救助物資・資機材等の備蓄として、1億7,240万円を計上。うち中山間地域孤立化対策としてヘリポート整備等に1億2,000万円、毛布等の災害救助物資備蓄に2,200万円、避難所への簡易型トイレの設置に1,600万円、福祉避難所への資機材等整備補助等として1,440万円を措置

■環境負荷の少ない循環型社会の形成に35億3,561万円

- ◇廃棄物の発生抑制・再利用の推進に3億128万円
- ・ ごみの減量・再利用等に2億7,257万円。うち資源ごみ・不燃ごみ等の収集に2億1,400万円、水銀含有ごみ処理に1,820万円、特定家庭用機器再商品化推進に47万円、東部環境センターのし尿汚泥の堆肥化推進に880万円を計上するとともに、資源物等持ち去り防止パトロールに363万円を計上
- ・ エコ産業団地の整備推進などエコタウン推進に1,479万円を計上
- ・ まちを美しくする市民活動の推進に1,393万円を計上
- ◇廃棄物の適正な処理に32億3,432万円
- ・ 清掃工場整備に5億414万円
- ・ プラスチック減容工場整備に700万円、最終処分場整備に800万円
- ・ 一般廃棄物等適正処理のための収集処理体制の

充実に25億1,865万円。うち可燃ごみ等収集に10億1,194万円、ごみ処理に10億5,318万円、し尿処理に2億8,915万円を計上

- ・ 一般廃棄物等の適正処理に8,721万円、うちごみ適正処理対策に293万円を計上
- ・ 産業廃棄物等の適正処理に3,833万円を計上
- ・ 東部環境センター整備に2,800万円
- ・ 環境事業公社運営補助等に4,300万円措置

■地球温暖化防止への貢献に1億7,056万円

- ◇人にやさしい低炭素都市の実現に1億7,056万円
- ・ 地球環境への負荷低減として1億1,922万円を計上、うち新たに省エネルギー設備導入事業補助に2,000万円を計上
- ・ 低炭素エネルギー活用促進に5,134万円を計上

■平和を守り人権を尊重する社会づくりに6億1,243万円

- ◇憲法の意義を理解し平和を尊び守る社会づくりとして、平和の日記念事業費に111万円を計上
- ◇人権を尊重する社会づくりに5億4,026万円を計上。うち学校人権教育推進に1億409万円、社会人権教育推進に9,675万円、人権同和啓発推進に2億5,587万円、市民組織の育成・啓発に1,054万円を計上
- ◇男女共同参画社会づくりとして、男女共同参画推進事業、男女共同参画センター事業推進等に7,107万円

■市民協働によるまちづくりに5億3,747万円

- ◇地域コミュニティの活性化に3億7,209万円
- ・ 町内会連合会補助に507万円、地域安全事業補助に851万円、コミュニティ集会所等施設整備補助に500万円、コミュニティ施設等整備補助に470万円を計上するとともに、子どもまちづくり活動等に709万円を計上。
- ◇NPO・ボランティア活動の推進に2,200万円。うち市民活動サポートセンター運営に2,168万円を計上
- ◇情報共有の推進に1億134万円
- ・ 情報公開の推進に368万円
- ・ あかるいまち発行に8,982万円、点字広報に385万円を計上、テレビ等の広報に400万円を計上
- ◇地域福祉の推進として、地域福祉活動推進に4,203万円を計上



■いきいき安心の高齢社会づくりに102億6,466万円

◇生涯現役のまちづくりに4,000万円、うち高知市老人クラブ連合会補助1,783万円、高齢者の生きがいづくり促進に1,935万円を計上

◇介護システムの充実に42億5,718万円

・介護サービスの質の向上に843万円を措置、うちこうち笑顔マイレージ推進など、介護保険事業の運営に対して一般会計からの負担41億3,181万円を計上

・施設・居住系サービス整備に1億1,693万円を計上

◇いきいき高齢者のまちづくりに58億4,680万円

・生活支援サービスの充実に3,829万円、うち在宅介護支援センター運営に279万円、日常生活用具給付等に50万円、緊急通報体制等整備に401万円、高齢者あんしん相談に56万円、軽度生活援助に14万円、高齢者等訪問理美容サービスに20万円、寝具洗濯乾燥消毒サービスに18万円、成年後見制度利用支援に25万円、生活支援ハウスの管理運営に1,535万円、高齢者共同生活住宅運営に41万円、高齢者緊急短期入所に20万円を計上、成年後見センター運営補助に1,370万円を措置

・介護支援事業に2,474万円、うち高齢者住宅リフォーム事業に897万円、生きがいデイサービス

に737万円、地域交流デイサービスに839万円を計上

・福寿園の管理運営等に1,097万円

・高齢者保護施設費に5億3,542万円を措置

・老人福祉センターに6,709万円を措置

・介護保険サービス低所得者対策に70万円を計上

・老人医療事業に30万円

・後期高齢者医療に51億6,930万円、うち後期高齢者医療広域連合負担に41億2,702万円、後期高齢者医療事業特別会計への繰出9億8,417万円、後期高齢者特定健康診査等に1,905万円、後期高齢者はり・きゅう・マッサージ施術助成に570万円を計上

◇その他の高齢者福祉に1億2,068万円

■障害のある人が安心して暮らせる環境づくりに94億2,488万円

◇障害のある人への支援に91億7,378万円

・難病対策に1億7,907万円、うち小児慢性特定疾病医療、身体障害児育成医療、未熟児養育医療などの医療対策に1億5,264万円措置

・障害者医療助成に9億8,227万円、特別障害者手当等に1億2,000万円を措置

・在宅生活支援に79万円、うち障害者相談員費に

77万円を計上

・自立支援に74億2,730万円、うち更生医療に10億8,792万円、補装具支給に7,900万円、自立支援給付に58億6,100万円、地域生活支援事業に2億9,726万円を計上

・その他の障害者福祉の充実に4億6,435万円、うち心身障害児(者)扶養共済制度の加入者保険料補助に2,800万円を計上

◇社会参加への支援に1億9,461万円

・社会参加促進に1億3,847万円、うち地域生活支援事業に9,107万円、日常生活支援に2,977万円、心身障害者小規模作業所援護に1,440万円を措置

・点字図書館に5,615万円、うち点字情報ネットワークに254万円、情報処理技術取得推進に38万円、ボランティアの育成に157万円、視覚障害者情報文化の推進に40万円

◇障害のある子どもへの支援に5,648万円

・子どもが地域で育つ時に生じる様々な問題の解決に向けて、発達支援や家族への支援等を行う子ども発達支援センター運営などに457万円を計上

・学校設備の整備など、学校教育での支援に168万円

■安全安心の生活環境づくりに45億8,338万円

◇生涯にわたる心身の健康づくり支援に17億5,508万円

・母子の健康づくりに5億830万円、うち妊婦一般健診、乳児一般健診、1歳6か月児及び3歳児健診等の健康診査に3億1,843万円、育児相談、育児学級、乳幼児育成指導等に166万円、不妊治療助成に7,794万円、生後4か月までの乳児のいる家庭への支援として、こにちは赤ちゃん事業に68万円を計上

・成人の健康づくりに3億202万円、うち女性支援のためのがん検診、乳がん検診、大腸がん検診等の健康診査に1億2,794万円を計上

・理解と交流推進として、こころの健康づくりに5,672万円、うち自傷他害の恐れのある精神障害者の措置事業、自殺予防の啓発等の精神保健に520万円、高知市精神障害者家族連合会等補助に7万円を計上

・食育による健康づくりに123万円を計上

・口腔保健センターなど歯科保健の推進に422万円を計上

・予防接種の推進に8億4,987万円、うち日本脳炎、麻しん風しん混合、ポリオ、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌等の法定予防接種に7億9,274万円を計上

・その他の健康づくり推進に3,272万円、うち健康教育、健康相談、訪問指導に279万円、国民栄養調査に63万円を計上

◇安心の地域医療体制づくりに23億5,447万円





・地域保健推進に570万円、うち衛生検査所指導、薬事等指導、医療安全支援センターの運営等の保健所事業に429万円、地域保健推進支援に50万円を計上

・地域医療体制の充実として医療体制整備に2億516万円、うち休日夜間急患センター、平日夜間小児急患センター運営や、小児、眼科の救急医療支援など救急医療体制等整備に2億39万円、災害医療救援活動推進や災害医療情報通信網整備に477万円を措置

・高知医療センターへの運営負担に18億5,251万円、土佐山地区のへき地診療所事業繰出金に1億584万円を計上

◇食の安全の確保に1億5,724万円

・食品安全推進、食品営業許可等指導、検査機器等精度管理などの食品保健に9,011万円を計上

・獣疫予防に6,713万円、うち食肉衛生検査に865万円、牛海綿状脳症検査に282万円を計上

◇衛生的な生活環境づくりに1億5,260万円

・衛生害虫等の駆除に3,467万円を計上

・動物の愛護として動物愛護推進に45万円、猫不妊去勢手術助成として533万円を計上

・監視指導の充実に58万円措置

・狂犬病予防対策に318万円措置

・公衆浴場施設への支援として242万円、小動物管理センター管理運営に2,074万円措置

◇健康危機管理体制と感染症対策の強化に8,057万円

・結核・感染症対策に8,057万円、うち結核対策に1,488万円、結核予防に250万円、風しん対策や緊急肝炎ウイルス検査など、感染症対策に1,739万円を計上

◇消費者の権利の尊重と自立支援に8,342万円

・消費者行政強化事業に427万円を計上

■安心して生活できる社会保障の充実に274億1,377万円

◇低所得者福祉の充実に234億3,205万円

・生活保護に224億9,296万円、誠和園では施設運営等に2億5,724万円を計上

・生活困窮者自立支援に4,700万円、臨時福祉給付金の支給に6億3,485万円を措置

◇国民健康保険の健全運営に一般会計からの繰出金36億7,455万円を計上

◇その他の社会保障の充実に3億716万円、うち中国残留邦人等生活支援に1億4,678万円、国民年金に5,235万円を計上

・民生委員協議会補助等に1億410万円を計上





■子どもを生み育てやすい環境づくりに230億8,981万円

◇子育て支援の充実に229億9,478万円

- ・子育て家庭支援として児童手当に52億6,617万円、乳幼児医療助成では6億164万円を計上、うち入院に1億5,387万円、通院等に4億2,838万円を計上、助産施設措置に3,940万円、要保護・準要保護児童生徒対策に4億6,028万円、幼稚園就園奨励に1億6,597万円、子育て世帯臨時特例給付金に1億4,205万円を措置

- ・ひとり親家庭支援として児童扶養手当に21億5,952万円、災害遺児手当に63万円、ひとり親家庭医療費助成に2億9,869万円を計上

- ・母子生活支援施設に3,593万円を計上。うち母子生活支援施設の措置費として3,209万円、民間母子生活支援施設「ちぐさ」の整備補助として384万円を措置するとともに、母子・父子・寡婦福祉対策としては、母子家庭等就業・自立支援センター運営に533万円、母子家庭等高等職業訓練促進給付に6,514万円、母子・父子自立支援プログラム策定事業に67万円を計上するなど7,633万円を措置

- ・平成27年4月に始まる子ども・子育て支援新制度など保育サービスの充実に107億2,306万円を計上。うち民間保育所運営に61億980万円、認定こども園運営に9億9,863万円、小規模保育施設運営に1億4,858万円、市立保育所運営に29億9,710万円を計上のほか、障害児加配保育士雇用補助に2億7,600万円、延長保育促進事業補助に3,881万円、一時保育促進事業補助に4,936万円、ほのぼのの保育に269万円、家庭支援推進保育に4,459万円を計上し、新たに低所得者層に対する学用品費等の助成として保育施設補足給付に1,119万円を措置。

- ・幼児教育の振興として8,302万円を計上。うち心身障害児の就園する私立幼稚園に対する補助として2,240万円を措置

- ・放課後子ども統合プランの充実に8億8,352万円を計上。うち放課後児童クラブの運営に6億3,044万円、放課後子ども教室の運営に1,471万円、小学4年生から6年生を対象とした放課後学習室運営に5,108万円措置、放課後児童クラブの整備に8,800万円を計上し、新たに民間事業者が放課後



児童クラブを建設する際の助成として3,257万円を措置。

- ・ 保育所施設整備に12億9,706万円を計上。うち民間保育所施設整備では、ひなぎく保育園など5園の改築等事業補助に9億29万円、市立保育所施設整備では、宮前保育園改築設計に2,000万円を計上。

- ・ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業に3億4,300万円
- ・ 心身障害児福祉年金に113万円
- ・ その他の子育て支援に3億9,678万円を計上

◇子どもを大切に育てるまちづくりに9,503万円

- ・ 子育て支援拠点事業として母子生活支援施設に724万円、健康福祉センター2か所に1,586万円、民営保育所5園等に設置する地域子育て支援センター事業に3,340万円を計上するとともに、子育て支援拠点施設補助として「はるの・わくわくぼけっと」に403万円を措置

- ・ 保育と仕事が両立できるよう変則的な保育ニーズ等に対応するファミリー・サポート・センター事業に1,327万円、親子絵本ふれあい事業に138万円、子ども家庭支援センターの事業運営に172万円、養育支援訪問事業に801万円措置

- ・ 児童虐待予防に373万円を計上

■未来に翔る土佐っ子の育成に69億2,456万円

◇心と体の健やかな成長をめざした支援の充実に1億3,241万円

- ・ 長期欠席・不登校対策に2,495万円を計上。うち教育相談事業に1,515万円、不登校対策総合支援に168万円を措置

- ・ 心の教育推進では、心のふれあい支援事業に479万円、学校カウンセラー推進事業に2,425万円措置のほか、いじめ問題対策の推進に50万円を措置

- ・ 食育の推進として小中学校食育・地場産品活用推進に100万円を計上

◇確かな学力をつけるための授業改革に2億5,580万円

- ・ 基礎学力の定着と学力の向上に2億4,214万円措置、児童生徒の学習支援として学習チューター派遣事業に251万円、放課後学び場づくり推進事業に4,850万円、中学校学習習慣確立推進事業に5,349万円、高知チャレンジ塾の運営に3,211万円、図書館支援員の配置に9,531万円を計上のほか、新たに探求的な授業づくり研究実践に200万円を計上

- ・ 教職員の資質・指導力の向上に1,367万円を計上。



うち教職員研修推進に155万円、中核市教育委員会教職員研修に670万円を計上

◇子どもたちの進路を保障する指導に209万円

・進路指導の充実として児童生徒自立支援教室運営に209万円措置

◇組織として機能する学校づくりに7,915万円

・活力ある学校づくりとして7,770万円を計上。

うち国際理解教育推進に5,691万円、小学校における外国語活動推進に1,273万円、学校個性化推進に745万円を計上するとともに、外国語教育推進プラン実践に40万円を措置

・開かれた学校づくりとしてシニアネットワーク推進に69万円を計上するとともに、中一ギャップの解消などを目的とした高知市コミュニティ・スクールの推進に37万円を計上

◇教育環境の充実を図るための施設整備に20億280万円

・学校施設整備として9億5,980万円を計上。うち土佐山小中学校グラウンド整備に1億8,500万円、江陽小学校屋内運動場改築に3億7,500万円を計上するとともに、新たに朝倉第二小学校屋内運動場改築に1億9,100万円を計上、その他の施設整備として、小学校施設整備に1億220万円、中学校施設整備に2,000万円、商業高校整備に900万

円、特別支援学校の整備に100万円、かがみ幼稚園の施設整備に1,900万円措置

・学校施設耐震化に10億4,300万円を計上。うち耐震補強整備として小学校4校4棟、中学校5校6棟の耐震化対策に9億6,000万円を計上、小学校5棟5棟の耐震補強等設計に4,300万円を措置

◇青少年を守り育てるまちづくりに1億4,616万円

・青少年健全育成に1,402万円を計上

・青年センター事業に3,562万円、補導センター事業に4,515万円を計上

・工石山青少年の家に5,137万円を計上

◇高等学校教育の充実として商業高校教育事業に6億9,507万円を計上、うち新教育課程推進に71万円を計上

◇その他の学校教育事業に36億1,109万円

・教育指導運営等事業に10億5,498万円。うち教育研究奨励事業に288万円、いきいき土佐っ子育成事業に610万円、奨学資金に7,300万円、学校における道德教育の充実を図る道德教育重点推進事業に70万円、教育課程拠点校事業に100万円、学校教育情報化システム管理に1億7,384万円を措置のほか、教員補助員配置事業に6,033万円を計上

・小学校教育事業に19億7,689万円、うち学校教





材整備に2億4,726万円、学校図書整備に2,316万円、給食業務等の委託に3億2,748万円を措置

- ・ 中学校教育事業に4億9,792万円、うち学校教材整備に1億1,338万円、学校図書整備に1,304万円を措置

- ・ 特別支援学校等教育事業に8,130万円、うち学校教材整備に1,235万円、学校図書整備に24万円を措置

■いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくりに44億8,728万円

◇生涯学習の推進に36億6,579万円

- ・ 公民館事活動の推進に1億4,504万円を計上
- ・ 図書館機能の充実では、移動図書館事業に1,801万円、子ども科学図書館事業に535万円を計上するとともに、新図書館等複合施設建設に29億1,300万円を計上

◇生涯スポーツの推進に8億2,149万円

- ・ スポーツ活動推進として8,765万円、うち運動部活動等推進に458万円、スポーツ推進委員研修事業に115万円、高知市スポーツ賞の推進に24万円、総合型地域スポーツクラブ育成に11万円、障害者スポーツ活動推進に9万円、指導者養成・各種大会等推進事業に7,102万円、高知龍馬マラソンの開催に1,000万円計上

- ・ 学校体育施設開放に1,710万円を計上

- ・ 総合運動場に4億942万円を計上、うち社会体育施設の管理、各種スポーツ教室の開催、体育団

体の指導等の運営補助として3億7,275万円、施設整備に3,500万円を計上

- ・ 東部総合運動場の施設管理に2億1,907万円を計上、野球場改修など施設整備に3,600万円を計上

- ・ 針木運動公園の管理運営に447万円、城ノ平運動公園の管理運営に659万円、土佐山運動広場の管理運営に173万円、西川複合集会所の管理運営に2万円、春野スポーツ施設の管理運営に191万円、ヨネッツこうちの管理運営に3,753万円を計上

■多様な文化を身近に親しむ環境づくりに6億214万円

◇芸術文化施策の推進に3億8,853万円

- ・ 文化プラザの管理運営や財団の自主事業の開催など文化プラザ事業に3億1,020万円を計上

◇「横山隆一記念まんが館」を核としたまんが文化の振興に5,000万円

- ・ まんが館事業に4,640万円を計上するとともに、「まんさいーこうちまんがフェスティバル」活性化に200万円を措置

◇文化財保護と郷土の歴史学習の推進に1億6,361万円

- ・ 自由民権記念館事業に1億2,350万円を計上

- ・ 文化財保護に2,513万円、うち竹林寺庭園保存整備に30万円を措置するとともに、新たに安楽寺の施設整備補助に37万円、五台山へんろ道史跡調査に700万円を措置。

- ・ 埋蔵文化財調査に520万円を計上

- ・ 市史の編さんに502万円を計上



4

地産の環

256 億 9,414 万円



■山間の恵みを活かす林業の振興に3,767万円

◇林業の基盤整備に3,767万円

- ・ 林道維持・整備として3,415万円、うち林道開設改良に310万円、林道舗装事業に2,000万円を計上
- ・ 林業施設の災害復旧に150万円措置

■大地の恵みを活かす農業の振興に17億4,892万円

◇農業の基盤整備に7億5,988万円

- ・ 土地改良事業として1億6,060万円を計上。うち市単土地改良事業に6,500万円、土地改良施設適正化事業負担等に4,008万円計上
 - ・ 農道水路維持整備事業として2億1,670万円を計上。うち農道用排水路維持管理事業交付金に3,624万円、春野広域農道整備に7,000万円、緊急防災土地改良浚渫として800万円を計上
 - ・ 機場維持・整備に3億6,958万円を計上。うち機場整備に2億円を計上するとともに、春野仁ノ地区排水対策事業として6,500万円を措置し、新たに西畑地区排水対策事業として200万円を計上
 - ・ 農業土木施設災害復旧事業として1,300万円措置
- ◇域内外への安定供給を可能とする産地づくりに6,721万円

- ・ 園芸産地の育成に6,611万円を計上。うち営農支援事業補助に103万円、園芸農業レンタルハウス整備事業補助に旧高知市域235万円、春野地域

6,270万円を計上、農産物輸出促進事業補助に4万円を計上、地産地消の推進に36万円を計上

- ・ 畜産農家の育成に74万円

◇農業の担い手の確保と育成に6,911万円

・ 農家育成・後継者対策として4,225万円を計上。うち農業経営基盤強化促進に3,770万円、農業後継者対策事業補助に73万円を計上するとともに、新規就農者等への支援として就農研修支援事業補助823万円を計上

- ・ 集落営農等の推進としてこうち農業確立総合支援事業補助1,863万円を計上

◇地域特性を活かす特色ある農業の展開に7,026万円

- ・ 中山間農業の活性化として3,730万円を計上。うち中山間農業活性化事業に376万円、ユズ産地化対策事業補助に100万円、飲料水供給施設整備に330万円、夢産地とさやま開発公社公益事業補助に2,000万円を計上
- ・ 新たな水田農業への取組では、経営所得安定対策推進に1,219万円を計上
- ・ ECO農業の推進に1,055万円、うち有機市民農園管理運営に133万円、農業用廃プラスチック処理推進として回収処理費の一部助成に163万円、環境保全型農業推進事業補助に278万円措置、鳥獣被害緊急対策としてサル・イノシシ捕獲報償金等に1,023万円を措置

- ◇その他の農業振興対策に7億8,246万円
- ・農業集落排水事業に3億2,900万円を計上

■海川の恵みを活かす漁業の振興に4億1,223万円

- ◇漁業競争力・経営体の強化に1,256万円
- ・漁業生産力の強化として、豊かな海の幸づくり推進事業補助に20万円、淡水魚増殖に350万円を計上、漁業経営対策に686万円を措置
- ・漁港の災害復旧に200万円
- ◇その他の漁業振興対策に3億9,967万円
- ・春野地区漁業振興事業補助に380万円、春野漁港の施設整備等に3億6,500万円を計上

■独創性あふれるものづくりの振興に20億7,289万円

- ◇地場企業の飛躍に向けた支援に1,041万円
- ・ものづくり受注拡大支援事業に128万円を計上
- ・商工業指導団体等補助に889万円を措置
- ◇企業誘致の推進に20億6,248万円
- ・操業・起業の促進として企業立地助成金に2億5,800万円を計上
- ・産業立地推進に18億円448万円、うち一宮産業団地開発に3億円、一宮産業団地の公共施設整備に12億2,000万円、新たに仁井田産業団地開発に6,800万円を計上

■魅力あふれる商業の振興に10億644万円

- ◇地域特性を活かした商業集積の形成に2,658万円
- ・産業活性化共同事業補助320万円、TMO事業推進などの中心商店街等活性化推進に300万円、中心市街地等の空き店舗利用の新規創業者等に対する空き店舗活用支援に350万円、中央公園で年末年始に開催するイルミネーションフェスタに120万円、まちあるき促進として7万円を措置
- ・近隣商店街の活性化に10万円
- ・街路市の振興に1,550万円を計上
- ◇経営力の強化に1億2,202万円
- ・経営力強化の支援として制度融資預託に6,294万円を計上
- ◇流通基盤の強化に6億3,000万円
- ・流通基盤の強化として市場事業に6億3,000万円を計上。

■あったか土佐のおもてなし観光の充実に202億1,968万円

- ◇新たな観光魅力の創造に186億7,035万円

- ・観光資源の磨き上げと創出では、龍馬の生まれたまち記念館の管理運営に2,225万円を計上のほか、よさこい情報発信としてよさこい情報交流館運営及びスペース拡張整備に3,803万円、桂浜公園整備計画策定に800万円を計上
- ・祭り・イベントの充実とコンベンションの振興では、大会等歓迎事業に150万円、よさこい祭り補助800万円、土佐のまつり補助に452万円、プロ野球キャンプ対策強化に1,200万円、プロゴルフトーナメント開催支援に250万円を計上
- ・収益事業に184億4,000万円
- ◇観光客誘致と情報発信に9,703万円
- ・観光プロモーションの推進として、よさこいシリーズ観光宣伝に206万円、原宿で開催されるスーパーよさこいへの参加に対する助成として100万円を措置
- ◇まごころ観光の充実に14億5,230万円
- ・受入態勢の充実として、観光周遊バス運営補助に1,000万円、桂浜ゴールデンウィーク等渋滞対策に830万円を計上
- ・国民宿舎運営事業に14億3,400万円を計上

■いきいきと働ける社会づくりに1億9,631万円

- ◇地域における雇用創出に7,568万円
- ・就労支援員の配置とともに市独自の雇用の発掘や就職の斡旋を行う無料職業紹介事業等に272万円を計上したほか、自発的な雇用創造事業に対して国が支援する事業である地域提案型雇用創造促進事業に1,111万円を措置
- ・緊急雇用創出事業に53万円、市単独の雇用対策として432万円を計上、地域人づくり雇用拡大事業に5,700万円を計上
- ◇キャリア教育の推進に138万円
- ・中学生体験活動推進に38万円、様々な社会人を講師として招聘し、進路学習を充実させるキャリア教育の推進に100万円を計上
- ◇労働環境の整備に1億1,925万円
- ・高知勤労者福祉サービスセンターの貸付預託に6,500万円、運営補助に1,200万円、加入者の拡大を図る加入促進事業に21万円を措置
- ・高年齢者就業機会確保事業等補助に2,120万円、こうち勤労センター改築事業利子補助に53万円、勤労者交流館の管理運営に959万円を計上、シルバー人材センター企画提案型事業補助に190万円を計上



■美しく快適なまちの形成に30億4,881万円

◇バランスの取れた都市の形成に26億9,333万円

- ・都市基盤整備として、都市計画基礎調査に567万円、新たに立地適正化計画策定に600万円、官民連携基盤整備調査に400万円を措置

- ・良好な市街地の形成のため、旭駅周辺市街地整備に22億3,300万円を措置、うち住宅市街地総合整備に3億6,000万円、下島土地区画整理に7億1,000万円、中須賀土地区画整理事業に3億7,500万円、旭町2丁目都市再生住宅建設に7億8,800万円を計上

- ・住居表示の推進に2,228万円

- ・都市と農山村交流の推進として2億14万円を計上、土佐山地域に移住・定住促進に140万円、中山間地域活性化住宅整備に1,300万円を計上、鏡文化ステーションR I Oの管理運営、整備に1,486万円、鏡吉原ふれあいの里の管理運営、整備に448万円、土佐山夢産地パーク管理運営等に298万円を計上

◇良好な景観の形成に2,329万円

- ・景観形成推進のため、幹線市道清掃に1,657万円、景観形成誘導助成や大規模建築物等のオープンスペース、屋上・壁面の緑化誘導等を目的とした助成などに671万円を計上

■にぎわう市街地の形成に6,700万円

◇都市中心核の形成促進に600万円

- ・中心市街地の活性化として中心市街地活性化計画推進に600万円を計上

◇中心市街地の回遊性の向上に600万円

- ・交通バリアフリーの推進に600万円を計上

◇街なか居住の推進に5,500万円

- ・市街地中心部への居住推進や高齢者の居住の安定に向けて、優良賃貸住宅推進に5,500万円を措置

■便利で快適な交通網の整備に43億5,176万円

◇広域交通ネットワークの強化に2,152万円

- ・交通ターミナルの充実として、はりまや橋観光バスターミナル管理運営に1,696万円、高知駅前広場管理運営に456万円を計上

◇都市交通の円滑化に25億6,353万円

- ・街路整備に10億1,853万円、うち旭町福井線第3工区の整備に2億8,300万円、県施工による高知駅秦南町線街路整備に5億7,153万円、新たに愛宕町北久保線、曙町西横町線、鴨部北城山線街路整備に着手する経費として1億5,000万円を計上

- ・道路新設改良に3億4,300万円を計上、長浜2号線、朝倉595号線2号橋、春野町859号線1号橋、一宮533号線1号橋などを継続して整備するほか、新たに五台山56号線を整備

- ・橋梁整備に4億6,000万円を計上、うち橋梁の点検や修繕経費として4億5,000万円を計上

- ・生活道路改良に4億7,800万円、道路舗装に2億2,000万円、道路網再編成に4,400万円を計上

◇公共交通の再生と活性化に2億2,255万円

・公共交通対策として鉄道軌道輸送対策事業補助に1,204万円、生活バス路線運行維持補助に1億2,700万円、廃止代替バス運行助成に7,135万円を計上するほか、公共交通利用啓発として公共交通利用推進に83万円、地域公共交通推進に657万円、高齢者公共交通利用促進事業補助として100万円などを計上

◇その他の交通対策として駐車場事業に15億4,416万円

■安全安心の都市空間整備に132億1,773万円

◇災害に強い都市基盤の整備に8億8,003万円

・がけくずれ対策推進として住家防災対策に4,900万円を計上

・都市下水路整備に2,000万円、維持管理に1億4,918万円を計上、河川水路等整備として市単河川水路整備に6,000万円、市単河川水路浚渫に7,000万円、排水機新設改良に8,800万円、市単河川浸水対策に1,800万円を計上

・河川水路維持管理に2億577万円

・市道の災害復旧に600万円、がけくずれ住家対策として2,500万円を措置

・防災公園の整備に1,050万円

・地籍調査の推進に1億7,157万円を計上

・その他の防災対策として、道路雨水枟清掃に700万円を措置

◇南海地震対策の推進に12億9,331万円

・住宅の耐震診断・耐震改修等に助成する木造住宅耐震化等に2億3,813万円を計上、うち老朽住宅除却事業補助に1,316万円、住宅塀改修推進に410万円を措置

・津波防災対策事業に1億6,262万円を計上、うち津波避難ビルへ資機材整備など津波防災対策に6,000万円、津波防災避難路等整備に8,000万円を計上するほか、農業用タンク津波対策事業補助に2,025万円を計上

・橋梁耐震対策に5,100万円を計上

・市有建築物耐震対策として、新たに鏡庁舎整備に3,000万円、春野庁舎整備に1,400万円を計上

・本庁舎の耐震対策として新庁舎の建設に7億3,000万円を計上

・震災対応力強化対策として、災害用井戸の整備に780万円、家具転倒防止対策に126万円、災害対応型給油所整備促進事業補助に1,000万円、新たに職員安否確認システム導入に131万円を計

上。また、防災教育推進地域指定、防災キャンプなどに140万円、職員等の防災士育成に256万円、救急救命講習に207万円を計上するほか、災害廃棄物処理計画推進に400万円、東部環境センター整備構想検討に300万円を計上

◇消防・救急体制の強化に54億2,390万円

・常備消防に30億1,344万円。うち消防無線システムの管理運営に1,571万円、救助隊強化推進に672万円を計上するとともに、緊急消防援助隊等活動体制整備に488万円を措置

・非常備消防に1億7,762万円を計上。うち消防団への装備品等の緊急整備に1,750万円を措置

・消防施設整備として、小型動力ポンプなど消防資機材整備に200万円、災害時の消防水利確保のための防火水槽や消火栓設置に9,500万円を計上するとともに、防災拠点整備として（仮称）北消防署の用地取得等に7億円、消防救急デジタル無線整備に11億8,584万円を計上

・消防車両整備として2億2,000万円、高規格救急車の導入に3,000万円を計上

◇多様で良質な市営住宅ストックの形成に5億4,300万円

・既存市営住宅の改善に1,500万円、市営住宅整備、除却に7,544万円を計上

・老朽公営住宅の建替として、東石立町・筆山町公営住宅建替の実施設計等に1億2,000万円を計上

◇交通安全対策の推進に1億7,247万円

・交通安全施設整備では、カーブミラーやガードレール、安全柵の設置等に6,300万円を計上

◇水道ライフラインの強化に46億1,248万円

・上水道事業として、送配水施設整備事業に2億3,458万円、漏水防止対策事業に2億8,300万円、災害対策事業として送水幹線の二重化や基幹施設の耐震化、耐震性非常用貯水槽設置などに27億9,180万円を計上、増補改良事業に11億9,600万円、簡易水道施設改良に9,700万円、仁淀川・鏡川水系の水源林用地取得や水源地域との交流事業に1,010万円を計上

◇墓地等の整備に2億6,254万円

・市有墓地の管理運営に3,848万円を計上

・斎場の管理運営に1億8,406万円を計上、うち新たに斎場整備実施計画に300万円を計上

・市有墓地の災害復旧に4,000万円を計上

◇その他の居住空間の整備として、住宅リフォーム事業補助に3,000万円を計上



■さらなる広域連携・交流の推進に3,777万円

◇広域行政の推進に1,844万円

・行政間の連携・交流として、仁淀川流域交流に59万円を措置

・定住自立圏の形成推進に1,692万円、うち定住自立圏による観光振興事業に1,600万円を計上

◇多様な主体との連携・交流に1,933万円

・姉妹・友好都市交流として、外国青年国際交流員招致に1,056万円、自治体職員協力交流に241万円、国際交流事業補助に45万円、北見市姉妹都市交流事業補助に15万円、姉妹・友好都市教育交流推進に41万円を計上するほか、フレスノ市姉妹都市との交流記念として150万円、蕪湖市友好都市交流記念として350万円を計上

・自治体コールセンターの運営に5,472万円を計上

・公共施設マネジメント推進に800万円を措置

◇情報化の推進に9億2,294万円

・電算管理に9億956万円を計上

■住民による自治の環境づくりに385万円

◇地域コミュニティの再構築に385万円

■持続可能で自立した行財政の基盤づくりに10億2,498万円

◇効率的で信頼される行政運営に1億205万円

・外部監査制度の推進に1,080万円を計上

・職員研修に2,263万円、うち接遇等の一般・特別研修に185万円、自治大学校等への派遣研修に1,120万円、部局研修に658万円を計上するとともに、職員の能力や意欲の向上を図ることを目的とした自主企画型派遣研修事業に300万円を措置



2015年度

高知市の予算概要

地方創生による「にぎわいと安心のまちづくり」